

# 第3回 杉一小学校運営協議会

日時：平成29年7月14日（金）17：00～18：30

会場：図書室

出席者：河北博文会長 伴野博美職務代理 野井真吾委員  
竹越不可止委員 阿部憲一委員 河野依子委員  
校長 副校長 米山美智子主幹教諭  
（傍聴）佐久間ゆかり様（PTA会長）



こどもほんおどり  
7月22、23日

## 《会次第》

### 1 会長あいさつ

- ・都議会議員選挙結果について
- ・医療の面からも、東京パラリンピックを成功させたい。

### 2 校長あいさつ

- ・オリパラ教育については、よいアドバイス、講師の紹介等していただきたい。
- ・各学期の期間、長期休業の期間は校長が決定できる。
- ・5年生移動教室から帰校 ○貴重な体験ができた ○成長見られる

### ＜会長より＞

- ・働き方改革について
- ・日本は、祝日、休日をすべて国が決めている。休みたい時に休めるようにすべき。

### 3 野井委員との懇談「ネット中毒について」

◎ネット使用による弊害について ※どの講演会に行っても、この話題になる。

▼ネット中毒になると、前頭葉に異変が起こるのではないかとされている。

- ・人の心を読むことができない。 ・コミュニケーション能力が低い。
- ・人と目が合わない。 ・突然キレる。 ・話の脈絡がない。
- ・初めてのことに弱い。 ・頑張れない。 ・すぐに話題が移る。
- ・バーチャルとリアルの区別がつかない。

★大麻中毒者と症状が同じである。依存性がある。

▼2014年の実態調査

★中学生の20%がネット中毒にかかっている。

★都会より、地方の子供たちの方が30～40%と深刻である。

★小学生の割合も高いのではないかと。

▼日本は他の文化、他の選択肢が少ない。

▼児童、生徒の生活が、塾、スマホに費やす時間、習い事、スポーツ等でいっぱい、余暇を過ごしていない。

▼ラインの数がものすごい。読まないといじめられる。

子どもたちも、睡眠不足等困っている様子もある。

## ▼外国の実態

○韓国、中国のネット中毒率は高い。

→更生施設も存在する →なかなか元には戻らないのが現状

○ヨーロッパでは、キッズフォンの使用を国が禁止している。

## ▼エナジードリンクの飲み過ぎに注意。

・中毒症状を起こす。 スポーツ選手に多い。

### <現状、意見等>

◎学校では、携帯、スマートフォンの安全な使い方については指導するが、脳が侵される等、心身にどのような悪影響があるかについては、十分指導できていない。

◎症状について、思い浮かぶ児童がいる。

◎You-tuber になりたいという児童もいる。(10年前にはいなかった)

◎保護者も児童と一緒にあって、相当使っている。子守り代わりに、幼児に持たせている。

◎スマホ等のメカニズムを、親が分かっていない。親が慣れていてほしい。

◎大人の方がおいていかれている。

◎講演会を開いても、保護者の集まりが悪い。意識が低い。

◎危険性が知らされていない。

◎文部科学省からの働き掛けはないのか？

◎自分で判断できる子になってほしい。

◎大きな社会のうねりの中で、自分一人だけ使わないことの方がエネルギーが必要。

### 《家庭の教育力について》

★家庭の判断力が低下している。 子どものお小遣いの金額も決められない。

★スマホの扱いについては、家庭でルールを徹底するべき。

★学校教育でやることではない。

◎学校に期待すること…☆保護者に分かるようなアピールの仕方。☆曖昧な言葉を使わず、伝える。

# インフォメーション

## 《引き渡し訓練・震災救援所訓練》

日時：9月2日(土)

1、2、3校時：学校公開

11：10 緊急地震速報が告げられ、訓練開始。(メール配信)

12：00 保護者への引き渡し開始

※引き取り後に、全家庭、震災救援所の受付をしていただきます。

参加は自由ですが、多くのご家庭の参加をお願いいたします。

## 《第4回 学校運営協議会について》 日時は未定です。

※学校運営協議会は、傍聴できます。

お問い合わせは、杉一小 副校長まで ☎03-3338-8367